

## ねらい

小学校と幼児教育施設の職員が、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を手がかりに、子どもの育ちを中心においた話し合いをすることで相互理解を深め、実践力の向上を図る。

保幼小の円滑な接続、学び・育ちの連続性を担保

佐伯市としての「架け橋プログラム」の実現



思考力の芽生え



協同性



道徳性・規範意識の芽生え



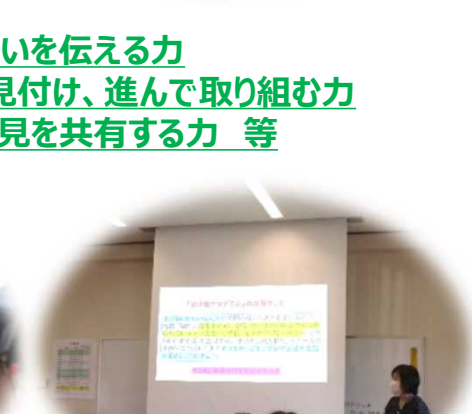
豊かな感性と表現



自立心



言葉による伝え合い



- ★自分の思いを伝える力
- ★自分でやりたいことを見付け、進んで取り組む力
- ★互いの思いや意見を共有する力 等

- 「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を踏まえた指導を工夫する
- 子どもが安心して自己発揮できるようにする



# 渡町台幼稚園・小学校における幼小接続・連携の工夫

幼小の連携と円滑な接続を推進するために、小学校職員室前の廊下に「活動における幼児期の終わりまでに育て欲しい姿」に関する掲示、園では、これまでの「活動ごとの園児の姿と幼児期の終わりまでに育て欲しい姿」を可視化し掲示し、子どもの育ちと学びを共有している。



小学校職員室前の掲示物

活動における子どもの姿と幼児期の終わりまでに育てほしい姿を関連付けた掲示物です



子どもの育ちと学びを共通理解し、「幼児期の終わりまでに育てほしい姿」を踏まえた指導を工夫するとともに、子どもが安心して自己発揮できるようにする